

研究構想図

学校目標 豊かな知性と心を持ち、たくましく未来を生き抜く児童の育成

児童の実態

- ・活力があり、真面目に取り組む児童が多い。
- ・根拠を持って自分の考えを表現することに課題がある。

めざす児童像

- ・よく考える子
- ・思いやりのある子
- ・がんばりぬく子

研究主題

共に学びを拓く子の育成

～ 主体的・対話的で深い学びの実現をめざして ～

読むこと (指針③・⑤)

- ・目的に応じて読む力
- ・叙述から自分の考えや根拠を明確にして読む力
- ・要点を見つけ出す力
- ・自分の経験と比べて読む力

表現すること (指針④・⑤)

- ・自分が考えたことを話す力
- ・相手の意見を聞き、変容したことを話す力
- ・自分の考えを構成して書く力
- ・内容や表現を工夫して書く力

(1) 主体的・対話的で深い学びのある授業づくり (文学的な文章)

- ①児童と共に作り上げる授業づくり (学びの指針②・④・⑥・⑪)
 - ・単元を見通して、付けたい力を明確にした学習計画づくり
 - ・学習意欲を高める課題の工夫
 - ・授業の課題を把握した授業改善
- ②考えが広がったり、深まったりする交流の場の設定
 - ・単元を見通した適切な交流 (学びの指針①・②・④)
 - ・交流する目的を明確にした学習形態の工夫
 - ・多様な考えを引き出したり、個々の考えを深めたりする手立ての工夫

(2) 学力・学習を支える基盤づくり

- ①互いを認め合える学級づくり
- ②チャレンジタイムの取り組み (学びの指針⑩)
- ③読書活動の充実
- ④表現活動の工夫 (学びの指針④)

生徒指導の3機能を意識した学級づくり